

## 海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 >

参考値

( データ集約 : 5/30 )

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (T-1) (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (T-2) (1~4号機放水口から南側に約280m地点)		告示濃度限度* (Bq/L)
試料採取日時刻	2017年5月29日 7時00分		2017年5月29日 7時25分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 ( Bq/L )	倍率 ( / )	試料濃度 ( Bq/L )	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND(0.58)	-	ND(0.63)	-	40
Cs-134 (約2年)	ND(0.67)	-	ND(0.44)	-	60
Cs-137 (約30年)	ND(0.62)	-	ND(0.53)	-	90

\* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
 (別表第2第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度 [ 本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載 ] )  
 その他の核種については評価中。  
 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。  
 NDは検出限界値未満を表し、( ) 内に検出限界値を示す。

## 海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 再測定 >

( データ集約 : 5/30 )

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (T-1) (5,6号機放水口から北側に約30m地点)	福島第一 南放水口付近 (T-2) (1~4号機放水口から南側に約280m地点)			
試料採取日時刻	2017年5月1日 7時40分	2017年5月1日 6時50分	告示濃度限度* (Bq/L)		
検出核種 (半減期)	試料濃度 ( Bq/L )	倍率 ( / )	試料濃度 ( Bq/L )	倍率 ( / )	
Cs-134 (約2年)	0.0073	0.00	0.0079	0.00	60
Cs-137 (約30年)	0.057	0.00	0.057	0.00	90

\* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
(別表第2第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度 [本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

詳細分析(リンモリブデン酸アンモニウム吸着捕集法)による分析結果を記載。

分析機関：(財)九州環境管理協会

## 海水核種分析結果 < 1/3 >

(データ集約 : 5/30)

採取場所 (地点番号)	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に 約30m地点)(T-1)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に 約1.3Km地点)(T-2-1) <sup>1</sup>				告示濃度限度* (Bq/L)
	試料採取日	2017年4月17日		2017年4月17日			
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND(0.63)	-	ND(0.66)	-			40
Cs-134 (約2年)	ND(0.61)	-	ND(0.71)	-			60
Cs-137 (約30年)	ND(0.45)	-	ND(0.63)	-			90
H-3 (約12年)	ND(1.6)	-	ND(1.5)	-			60,000
全	ND(1.9)	-	ND(1.9)	-			-
全	7.8	-	13	-			-
Sr-90 (約29年)	0.0042	0.00	0.0070	0.00			30

\* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
(別表第2第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度 [本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については、2017年4月18日公表。H-3については、2017年4月21日公表。

NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

Sr-90の分析は(財)九州環境管理協会にて実施。

- 1 台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、代替としてT-2地点(1~4号機放水口から南側に約330m地点)において試料を採取。さらに、1~4号機放水口から南側に約280m地点へ移動して試料を採取。(2017年1月27日~)

(評価)

全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、Sr-90の濃度は、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

## 海水核種分析結果 < 2/3 >

( データ集約 : 5/30 )

採取場所 (地点番号)	福島第一 敷地沖合15km(T-5) 上層	請戸川沖合3km (T-D1) 上層	福島第一 敷地沖合3km(T-D5) 上層	告示濃度限度* (Bq/L)			
試料採取日	2017年4月17日		2017年4月20日				
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
Cs-134 (約2年)	ND(0.0012)	-	0.0018	0.00	ND(0.0014)	-	60
Cs-137 (約30年)	0.0038	0.00	0.010	0.00	0.0067	0.00	90
H-3 (約12年)	ND(0.37)	-	ND(0.36)	-	ND(0.36)	-	60,000
全	ND(1.9)	-	ND(1.9)	-	ND(1.9)	-	-
全	ND(18)	-	ND(17)	-	ND(17)	-	-
Sr-90 (約29年)	0.00095	0.00	0.0016	0.00	0.00079	0.00	30

\* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
(別表第2 第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度 [ 本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載 ] )

試料濃度が「 - 」とは、測定対象外を示す。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

Cs-134, Cs-137については、2017年5月18日公表。

NDは検出限界値未満を表し、( ) 内に検出限界値を示す。

Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

( 評価 )

Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

### 海水核種分析結果 < 3/3 >

(データ集約 : 5/30)

採取場所 (地点番号)	福島第二 敷地沖合3km(T-D9) 上層						告示濃度限度* (Bq/L)
試料採取日	2017年4月17日						
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
Cs-134 (約2年)	0.0013	0.00	/	/	/	/	60
Cs-137 (約30年)	0.0097	0.00	/	/	/	/	90
H-3 (約12年)	ND(0.37)	-	/	/	/	/	60,000
全	ND(1.9)	-	/	/	/	/	-
全	ND(18)	-	/	/	/	/	-
Sr-90 (約29年)	0.0014	0.00	/	/	/	/	30

\* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
(別表第2第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度 [本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

試料濃度が「-」とは、測定対象外を示す。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

Cs-134, Cs-137については、2017年5月18日公表。

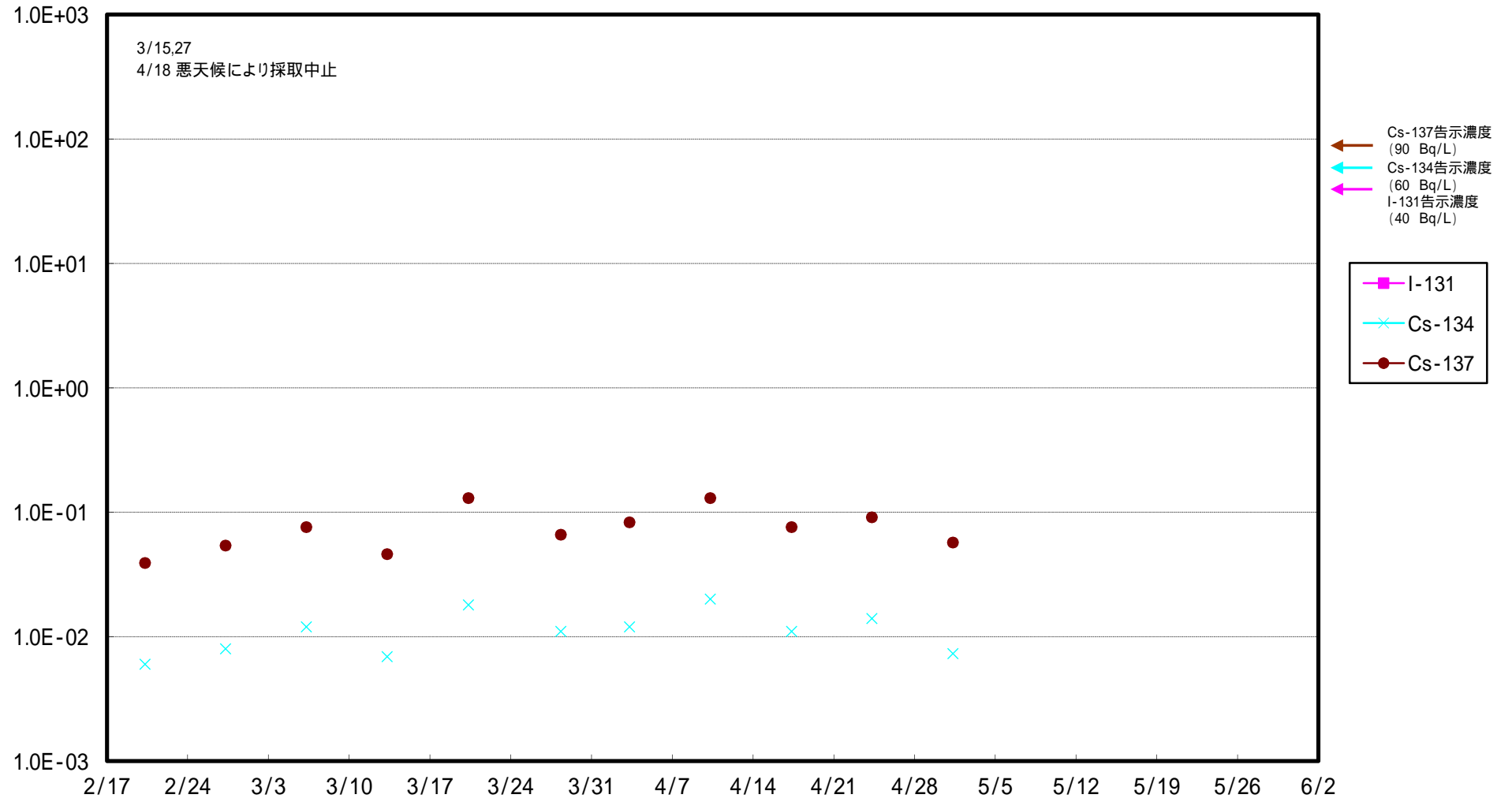
NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

福島第一 5,6号機放水口北側(T-1) 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第一 南放水口付近(T-2) 海水放射能濃度 (Bq / L)

